

メンテナンス方法

準備するもの

 ・日本の木でできたシリーズ天板、棚板

 ・布2枚（塗布用と拭き取り用）
日本手拭いが適しています。パイル地タオルや、ハケ、ローラー、スプレーのご使用は塗り過ぎの原因になりますので、ご使用をお控えください。

 ・植物性オイル

 ・ビニール袋



1 塗布する面の木地表面についたほこり、ごみ、汚れ等を、あらかじめ拭き取ってください。オイルの容器をよく振りよく混ぜます。布にオイルをつけます。



2 木目に沿ってオイルをまんべんなく塗り込んでいきます。木地に擦り込むように、ごく薄く延ばしてください。



3 塗布後すぐに木の表面の油分を、別の乾いた布で十分に拭き取ります。から拭きが十分でないと、表面がべたついたり、乾燥が著しく遅くなったりすることがあります。



4 乾燥時間は、使用した塗料、材質（樹種）、季節、地域によっても異なりますが、約24～72時間を目安としてください。



5 使用済みの布は積み重ねて放置しておく、自然発火する恐れがあります。水に濡れたままビニール袋に入れ、密封し可燃物として処理してください。



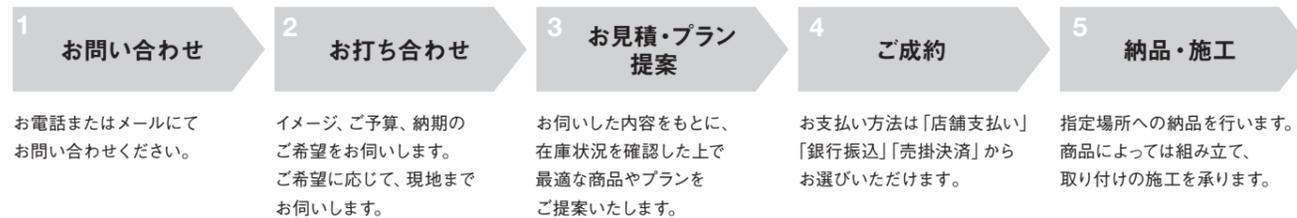
実施時期は半年に1回を目安に行います。

日本の木でできた家具

国産材活用と感じ良いはたらく場



ご注文の流れ



お問い合わせ

お電話またはメールにて、法人担当までお問い合わせください。
公式ホームページでは法人様向け商品・納品事例をご紹介します。



詳しくはこちら

URL: <https://www.muji.com/jp/business/>

無印良品



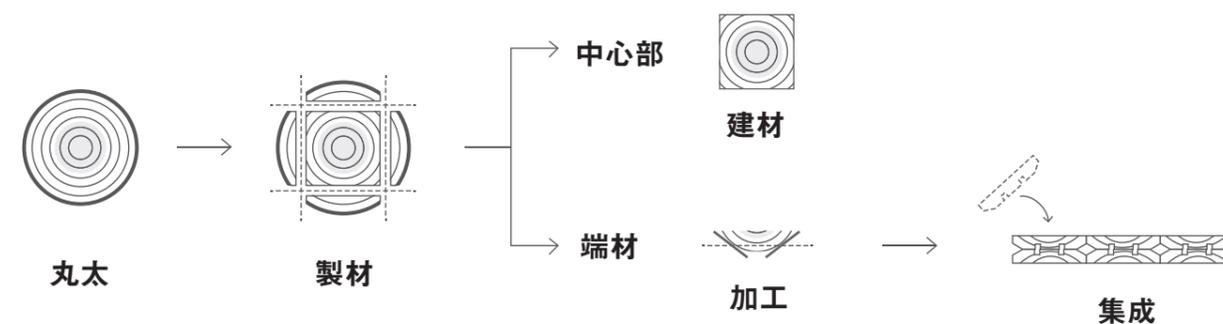
▽ 山折り

実寸サイズ

△ 山折り

端材でできた天板・棚板

デスクの天板やシェルフの棚板に、杉を製材するときに出る端材を活用しています。木表（きおもて）側を内部に向けて集成材にしていくことでパネル内に空洞ができ、同じ厚みの木材と比べて、軽いながらも強度が保たれた天板や棚板になります。これまで捨てられていた部分も無駄にせず、有効に使っています。



日本の木を使う理由

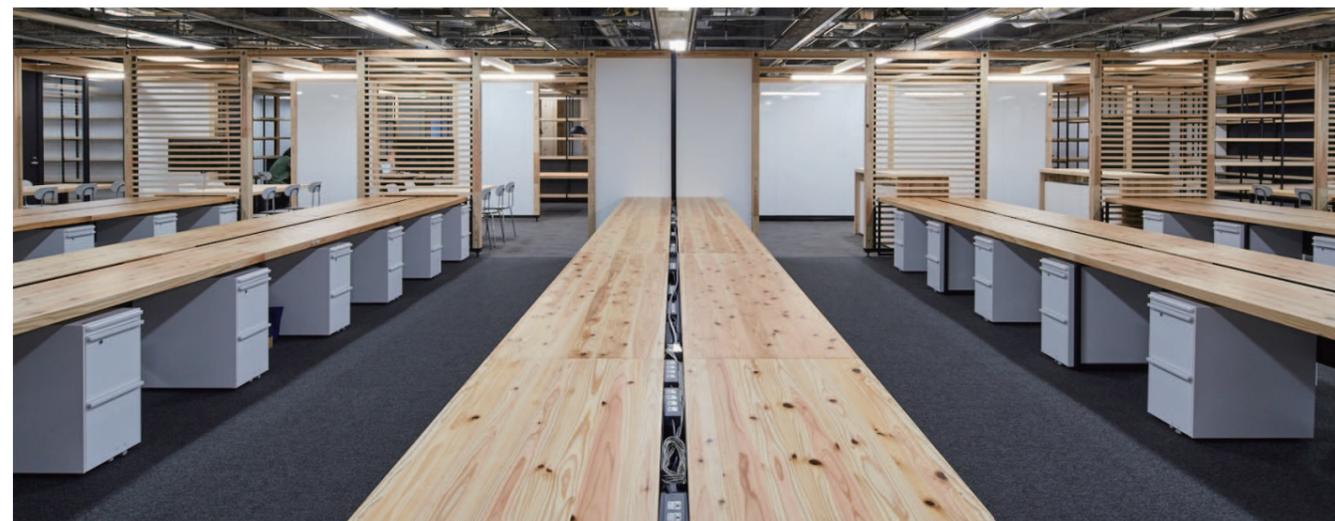


日本は国土面積の約67%を森林が占める、世界で3位の森林大国です。しかし、木材全体の消費量のうち国産材の占める比率は約30%に過ぎず、管理が行き届かない森林の荒廃が問題になっています。

環境へ配慮をしたものづくりを目指して、無印良品ではこの豊かな森林資源を活用して、より快適なオフィスづくりに取り組みはじめました。

感じ良いはたらく場

木は曲がり、反るもの。
木の備え持った性質は、時に機能性に影響してしまうことがあります。
木材が持つやさしい質感やぬくもりは他の素材に代えがたいものがあるのも事実です。
効率性を優先するだけでは得られない、「感じ良いはたらく場」を提案いたします。



デスク・シェルフ・テーブル・ベンチ



日本の木でできたワークデスク

連結可能で、片面にも対面にも組み替え可能なデスクです。レイアウトの変更にも柔軟に対応ができ、長く使うことができます。



日本の木でできたユニットシェルフ

オフィスや学校、公共の場で、ものを整然としまふことができます。豊富なオプションパーツで、用途に合わせて機能的なシェルフをつくることができます。



日本の木でできたワークテーブル

ミーティングから食堂、ワークまで。オフィスや学校、公共の場のさまざまな場所に使えるテーブルです。



日本の木でできたベンチ

組み合わせることによってさまざまなレイアウトで使うことができるベンチです。

▽ 山折り